

野生鳥獣の肉における放射性物質の測定結果について
 (令和2年度第6報)

仙台市、蔵王町、亶理町、色麻町及び加美町で採取されたイノシシ肉、気仙沼市及び登米市で採取されたニホンジカの肉及び大和町で採取されたカルガモ肉について、放射能物質の測定を行ったところ国の基準値(100ベクレル/kg)を超えるものではありませんでした。

なお、ツキノワグマ肉及びイノシシ肉については、平成24年6月25日付けで、県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続しております。

また、ニホンジカ肉については、平成29年12月13日付けで県内全域を対象に国から出荷制限指示が出されており、現在も継続していますが、県の管理下において全頭検査を行い、放射性セシウムの検査結果が国の基準値を超えないものに限って出荷制限が一部解除されております。

記

1 測定結果

(単位:ベクレル/kg)

鳥獣名	捕獲場所 (鳥獣保護区等位置図 表記地区)	放射性セシウム		捕獲 年月日	測定日
		測定値	食品衛生法の規定に基づく放射性物質の基準値		
イノシシ	亶理町上郡	不検出	100	R2.8.7	R2.9.16
ニホンジカ	気仙沼市前木	26.2		R2.9.2	
	気仙沼市本吉町中川内	89.5		R2.9.1	
イノシシ	加美町上多田川	12.1		R2.9.6	
	亶理町長瀬	不検出		R2.9.7	
	蔵王町宮	不検出		R2.9.12	
カルガモ	大和町落合	不検出		R2.9.13	
イノシシ	仙台市泉区福岡西苦桃	不検出		R2.9.14	
ニホンジカ	登米市登米町大字日根牛	10.4		R2.9.15	
イノシシ	色麻町志津	11.0		R2.9.14	

※ 次のURLから、野生鳥獣肉に係るこれまでの検査結果が確認できます。

<https://www.r-info-miyagi.jp/r-info/archive/> (みやぎ原子力情報ステーション)

- 2 測定年月日 令和2年9月16日
 3 検査機関及び検査機器 株式会社 理研分析センター
 ゲルマニウム半導体検出器
 4 検出下限値 6.61 ~ 9.51 ベクレル/kg

(参考)

(1) 不検出

放射性物質の濃度が、検出下限値に満たないことを指します。

(2) 検出下限値

当該測定機器で検出できる放射性物質濃度の最小の値を示し、測定ごとに異なります。

なお、測定値及び検出下限値は、セシウム134及びセシウム137それぞれの値を合算した値であり、測定の結果によりセシウム134又はセシウム137のどちらかが不検出の場合などでは、測定値が検出下限値を下回ることがあります。